

平成二十七年年度国文学科講義題目, 編集後記,
執筆者紹介, 奥付

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2021-11-30 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://osaka-shoin.repo.nii.ac.jp/records/4607

情報メディア論

キャラクターと著作権

創作演習 F・G・H

作品制作演習 C・D

サブカルチャー研究 A・B

研究入門ゼミ A・B

江 弘毅

矢根 俊治

小笠原成彦

南天 佑

應矢 泰紀

田原 広史

檀原みずず

長谷あゆす

東野 敏夫

森西 真弓

青木 治道

田原 広史

中 周子

檀原みずず

宮崎 彰夫

奈良崎英穂

小笠原成彦

高橋 和幸

田原 広史

長谷あゆす

宮崎 彰夫

森西 真弓

奈良崎英穂

青木 治道

南天 佑

長岡 悦子

生井真理子

松本 宏揮

松本 宏揮

池田 光子

池田 光子

木村 雅則

木村有美子

東野 敏夫

東野 敏夫

書写 A・B

漢文講読 A・B

中国書道史

日本書道史

中国文学

中国文学史

国語科教科教育法 A・B

国語科教科教育法 C・D

書道科教科教育法 A・B

書道科教科教育法 C・D

発展ゼミ C・D

発展ゼミ A・B

編集後記

樟蔭国文学第五二号をお届けする。昨年は大学の学部改組、キャンパス統合、事務組織の再編に加え、教員研究室の引越しといった諸事に取り紛れ、発行を断念せざるを得なかった。したがって、本号は二年ぶりの発行となる。

昨年从今年にかけて、国文学科の元教授がお二人、相次いで鬼籍に入られた。昨年の一〇月には平安文学のご担当であった西木忠一先生、今年の一には国語学のご担当であった西端幸雄先生がお亡くなりになった。私ごとながら、平成元年に樟蔭に就職して以来、西端先生とは、文部科学省の科学研究費を受け共同研究をさせていただいたり、ご定年後もずっと非常勤講師をお願いしたり、公私ともにお世話になってきた。その中で学期途中の突然の訃報に茫然としたのであった。ご両名とも長い間樟蔭の国文学科を支えていただいた方である。国文学科として心からご冥福を祈りたい。

本号では、今年度から新たに国文学科に來られた先生の中から、東野敏夫先生には「書というもの」と題し、「書道」と「書」の違いについて、学校教育的観点から考察したご論考を、奈良崎英穂先生には、「あせごのまん」の筆名で、京都を舞台にしたホラー小説をそれぞれご執筆いただいた。

現在、国文学科は再来年度の創立百周年に向け、今後進むべき道を模索中である。国語国文学会のみならず、さらにも将来の国文学科についてお考えいただき、ご意見をうかがいたいと思っている。

(国文学科長 田原広史)

樟蔭国文学 第五十二号

平成二十八年三月一日発行

執筆者紹介

東野敏夫 本学教授
木村雅則 本学非常勤講師

樋口尊子 大和大学教育学部准教授

田原広史 本学国文学科・平成十六年三月卒業

森西真弓 本学教授

あせごのまん 本学教授
奈良崎英穂・本学准教授

編集者 大阪樟蔭女子大学
国語国文学会

(代表者 山原広史)

印刷所 大阪市北区天淀南一丁目一五
株式会社 共和印刷

電話〇六(八四五)八九六一

五七七―八五五〇

東大阪市菱屋西四丁目二番 六号

大阪樟蔭女子大学国文学科

大阪樟蔭女子大学

発行所 国語国文学会

電話〇六(六七三)八八一